

Symphony

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

2024
DECEMBER

No. 727

Sat. 7th December
Subscription Concert

No. 98

Sun. 8th December
Kawasaki Subscription Concert

No. 143

Wed. 18th December
Tokyo Opera City Series

Special
Concert

Sat. 28th December
Sun. 29th December

12



TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director



TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA

Jonathan Nott, Music Director

音楽監督	ジョナサン・ノット
桂冠指揮者	秋山和慶
	ユベール・スダーン
正指揮者	原田慶太楼
名誉客演指揮者	大友直人
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス ◆
	上田 仁 ◆
	遠山信二 ◆

名誉コンサートマスター	大谷康子
-------------	------

第1コンサートマスター	小林啓成
	グレブ・ニキティン
コンサートマスター	田尻 順

会 長	澤田秀雄
理事長	岡崎哲也
副理事長	平澤 創
	依田 巽
専務理事	廣岡克隆
理 事	阿部武彦 辻 敏
	池辺晋一郎 永山 治
	伊藤美樹 寛野 剛
	大橋 博 南部靖之
	コシジュンコ 福川伸次
	菅谷貴子 増岡聡一郎
	竹中平蔵 森 京子
監 事	寺西基之
	渡邊芳樹
評議員長	金山茂人
最高顧問	梅沢一彦 星 久人
評議員	鷺海量明 山添 茂
	片山泰輔 芳野まい
	加藤英輔
特別顧問	飯島延浩
	草壁悟朗
	福田紀彦

1st Violins

○木村正貴
○堀内幸子
○森岡ゆりあ
○小川敦子
○小山あずさ
○立岡百合恵
○土屋杏子
○中村楓子
○水谷有里
○吉川万理

2nd Violins

○清水泰明
○服部亜矢子
○加藤まな
○福留史純
○河裾あずさ
○鈴木浩司
○辻田薫り
○阿部貴弓
○坂井みどり
○塩谷しずか

Violas

○青木篤子
○武生直子
○西村真紀
○多井千洋
○山廣みほ
○新井瑞穂
○小西応興
○鈴木まり奈
○金田渥司 *

Cellos

☆伊藤文嗣
○笹沼 樹
○川井真由美
○内山剛博
○蟹江慶行 ●
○樋口泰世
○福岡茉莉子
○渡邊ゆかり *

Double Basses

○助川 龍
○コーディ・ローズブーム
○北村一平
○久松ちず
○安田修平
○渡邊淳子

Flutes

○相澤政宏
○竹山 愛

Flute & Piccolo

濱崎麻里子

Oboes

○荒 絵理子
○荒木良太
○浦脇健太

Oboe & English horn

最上峰行

Clarinets

○エマニュエル・ヌヴー
○吉野亜希菜
○近藤千花子

Bassoons

○福士マリ子
○福井 蔵
○坂井由佳
○前関祐紀

Horns

○上間善之
○加藤智浩
○白井有琳 *
○藤田 麻理絵 *

Trumpets

○澤田真人
○野沢岳士 ●
○松山 萌
○ローリー ディラン *

Trombones

○大馬直人
○島塚心輔
○住川佳祐

Bass Trombone

藤井良太

Tuba

近藤陽一

Timpani & Percussions

○清水 太
○山村雄大
○武山芳史
○網川淳美
○新澤義美

Librarians

林 知也
加藤幸子

Stage Managers

西岡理佐
山本 聡

栄誉団員

井伊 準 ◆

楽団長

廣岡克隆

編成局シニアディレクター

藤原 真

編成局パーソネルマネージャー

謝名元 民

楽団委員

北村一平 (議長)
多井千洋 (書記)
相澤政宏
浦脇健太
鈴木浩司
福留史純

事務局長

辻 敏

事務局

■尾木貴雄
□高瀬 緑
市川萌都
伊藤瑛海
榎 日向
小川博司
相原美砂
長久保宏太朗
三橋真琴
山田道子
■梶川純子

名譽団友
深江泰輔 ◆
三木晴雄 ◆

団 友
天野佳和
新井 汎
安藤史子
池田 肇
石川晴依世
今村和弘
岩澤淳子
上原正二
上原規照
上原未莉
内田彬雄
内田乃側子
宇都 美
梅田 学
大隅博利
大塚正昭
大塚慶男
大和田浩明
大和田ルース
小川さえ子
萩野 昇
奥田昌史
前川健二
加藤信吾
宮原勝一
甲斐さち
加藤信吾
金澤 茂
久保田一穂
熊谷仁士
荻原亮司
小林照雄
小林利彰
小林亮子
阪本正彦
佐川聖二
佐々木真
篠崎 隆
宮野明彦
杉浦直基
鈴木一輝
岸澤英雄
曾根敦子
高野成之
武田英昭
田中真輔
千村雅信
十亀正司
豊山 悟
永井聖乃
中家利良
中家博則
西依智子
西脇秀治
野村真澄
馬場隆弘
原田美保子
白野 奏
ペアン・チ
ポー・マン
前田健一郎
松崎聖絵
丸山正昭
三浦正信
宮原祐子
宮本直樹
宮本 睦
森みさ子
諸橋健久
渡辺 功
渡辺哲郎
渡辺裕子

【ハーブ寄贈：環境ステーション株式会社】

☆ソロ首席奏者 □客演首席奏者 ○首席奏者 ○ファオシェビラー ●インスペクター
■本部長 □部長 □シニアディレクター * 研究員・準事務局員 ◆ 故人

演奏会でのお願い

Concert Manner Guide



チケットに記載された 座席でご鑑賞ください

チケットに記載されている座席番号にのみ有効です。座席移動はご遠慮ください。

Please be seated at the seat number designated on your ticket.



開演前に電子機器の 電源はOFFに

マナーモードにしても振動する音が響きますので、電源は必ず切るようにしましょう。

Switch OFF your mobile telephones, wristwatch alarms and all other noise-emitting electronic devices before the performance begins.



補聴器の確認を

ご使用のお客様は、きちんと装着されているか今一度お確かめください。

For our guests who wear hearing aid devices, please check that your device is suitably set before the performance begins.



周囲の視界を遮るような 行為はやめましょう

身を乗り出しての鑑賞や、つばの広い／高さのある帽子は脱いでご鑑賞ください。リズムをとる行為もおやめください。

Please refrain from wearing hats or rhythmically swaying in a way which could disturb or obstruct the view of those seated near you.



開演後の入場を 制限させていただきます

開演後のご入場は制限させていただきます。

You will not be permitted to enter the concert hall during a performance.



演奏中の飲食は ご遠慮ください

のど飴等の包み紙を開ける音は、場内に響きますのでご遠慮下さい。

Refrain from eating and drinking during the performance.



演奏中はお静かに

手荷物につけている鈴やビニール袋等は音を立てないようにご配慮下さい。演奏中の私語、プログラムやスコア等紙類をめくる音、かばんのチャック等をさわる音も思っている以上に場内に響きます。

Please be silent during the performance.



咳、くしゃみをする際は ハンカチで押さえましょう

ハンカチをあてがうことで音量はかなり軽減されます。

Please use a handkerchief to help suppress the noise from any coughing or sneezing.



曲の余韻も 演奏のうちです

音が消えゆく余韻を十分に感じてから拍手をお送りください。

The lingering sounds and moments are part of the performance. Please hold your applause or shouting your appreciation until the actual end of the performance.



カーテンコールを除いて、ホール内での録音・録画・写真撮影は禁止です

終演後のカーテンコールの撮影は、自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。

※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※スマートフォン・携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用、フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

Photography, filming and recording are prohibited, but it is permitted to film the curtain call after the concert. Photography is not permitted at the end of the first half or during encore performances. Please refrain from taking pictures with cameras other than smartphones and mobile phones, using selfie sticks, using flash, and taking pictures at eye level or higher.

12/7 SAT. 8 SUN.

第727回 定期演奏会

2024年12月7日(土) 18:00 サントリーホール

Subscription Concert No.727

Sat. 7th. December 2024, 18:00 Suntory Hall

川崎定期演奏会 第98回

2024年12月8日(日) 14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

Kawasaki Subscription Concert No.98

Sun. 8th. December 2024, 14:00 MUZA Kawasaki Symphony Hall

ジョナサン・ノット [指揮]
 アヴァ・バハリ [ヴァイオリン]
 小林 幸成 [コンサートマスター]

Jonathan NOTT, Conductor
 Ava BAHARI, Violin
 KOBAYASHI Issey, Concertmaster

シェーンベルグ:
 ヴァイオリン協奏曲 op.36 (38')

A.SCHOENBERG:
 Violin Concerto op.36 (38')

I.ポコ・アレグロ
 II.アンダンテ・グラツィオーソ
 III.フィナーレ:アレグロ

I. Poco allegro
 II. Andante grazioso
 III. Finale: Allegro

休憩 (20')

Intermission (20')

ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調
 op.67「運命」(35')

L.v.BEETHOVEN: Symphony No.5
 in C minor op.67 "Destiny" (35')

I.アレグロ・コン・ブリオ
 II.アンダンテ・コン・モート
 III.アレグロ
 IV.アレグロ - プレスト

I. Allegro con brio
 II. Andante con moto
 III. Allegro
 IV. Allegro - Presto

- 主催/公益財団法人東京交響楽団
- 助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会
- 後援/在日スイス大使館、ブリティッシュ・カウンシル、川崎市(12/8)、「音楽のまち・かわさき」推進協議会(12/8)
- 協力/ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)(12/8)

楽曲解説はP.6をご覧ください



MUZA
 KAWASAKI
 SYMPHONY HALL



12/7 SAT. 8 SUN. 28 SAT. 29 SUN.



©K. Miura

Jonathan NOTT

Conductor

ジョナサン・ノット
[指揮]

Music Director
音楽監督

東京交響楽団第3代音楽監督。イギリス生まれ。フランクフルトとヴァースバーデンの歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、ルツェルン響首席指揮者兼ルツェルン劇場音楽監督、EIC音楽監督、バンベルク響首席指揮者を経て、2017年よりスイス・ロマンダ管音楽監督も務める。抜群のプログラミングセンスと古典から現代曲まで幅広いレパートリーで、主要オーケストラ・音楽祭に客演。2010年バンベルク響とのCDが、世界で権威ある仏Midem音楽賞最優秀交響曲・管弦楽作品部門賞受賞。2009年バイエルン文化賞受賞。2016年バンベルク大聖堂にて大司教より功労勲章を授与。東響とともに2020年「ミュージック・ペンクラブ音楽賞(オペラ・オーケストラ部門)」を、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」、毎日クラシックナビ「公演ベスト10」において、R.シュトラウス・コンサートオペラシリーズ《サロメ》、《エレクトラ》をベストコンサートに導く。レコーディング活動でも多彩な才能を発揮し、ウィーン・フィルやベルリン・フィルとの録音のほか、東響とはオクタヴィアレコードより多くのCDをリリースしている。

Among today's renowned and interesting conductors, Jonathan Nott, is probably the most fascinating. His unique talent unites what appear to be irreconcilable opposites, creating deeply emotional yet gratifyingly intellectual interpretations, connecting to his musicians at the very humblest level, and bringing an unusual depth of analysis and spontaneous, heartfelt music-making, both in the symphonic and operatic repertoires, and in the field of contemporary music in all areas of music. As Music Director of the Tokyo Symphony Orchestra, he enjoys near Popstar status, due not only to his intense and explosive aura while performing but also to his unusual programming creativity. Together with the TSO, he won "BEST CONCERT 2023" by Ongaku-no-tomo and "Best 10" by Mainichi Classical Navi for the concert opera series of R. Strauss "Salome" and "Elektra" as well as the 2020 Music Pen Club Japan Award. Unsurprisingly, he has conducted all major orchestras, performed with almost all famous soloists, and enjoys a long list of award-winning multi-channel recordings with TUDOR, SONY, PENTATONE and OCTAVIA.

12/7 SAT. 8 SUN.



©Sylvain Barres

Ava BAHARI

Violin

アヴァ・バハリ
[ヴァイオリン]

スウェーデン出身。ユニークな曲への新鮮な意欲を持つヴァイオリニスト。ジェノヴァのプレミオ・パガニーニ・コンクール第3位、2021年シオンのコンクール・インターナショナル・ティボール・ヴァルガ第4位、2019年ストックホルムのオーロラ音楽コンクールで第1位など、数々の賞を受賞している。

これまでにイエーテボリ交響楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー管弦楽団、カルロ・フェリーチェ・ジェノヴァ劇場、バーデン・バーデン・フィルハーモニー管弦楽団、マルメ交響楽団、オーデンセ交響楽団、イエヴレ交響楽団などの著名なオーケストラと共演。

2024/25年には、ヨーテボリ交響楽団のアーティスト・イン・レジデンスを務めるほか、フィルハーモニア管弦楽団、ヘルシンキ・フィルハーモニー管弦楽団、アイスランド交響楽団などと共演する。また、ソウル・アーツ・センター、クレモナのヴィオリーノ美術館、ベルリン・コンツェルトハウスでのリサイタルが予定されている。

@ava_printemps

Ava Bahari is a highly accomplished Swedish violinist with a refreshing appetite for unique repertoire. Bahari has received numerous awards, including third prize at the Premio Paganini Competition in Genova, fourth prize at the Concours International Tibor Varga in Sion in 2021, and first prize at the Aurora Music Competition in Stockholm in 2019.

Bahari has performed with esteemed orchestras such as Gothenburg Symphony, Royal Stockholm Philharmonic Orchestra, Teatro Carlo Felice Genova, Baden-Baden Philharmonie, Malmö Symfoniorkester, Odense and Gävle symphony orchestras.

In 2024/25 Ava Bahari is Artist-in-Residence with Gothenburg Symphony, and will perform with Philharmonia, Helsinki Philharmonic, Tokyo Symphony and Iceland Symphony orchestras, amongst others.

Notable recital performances include a Paganini recital at the Seoul Arts Center, a recital on the 'Staufner' Guarneri del Gesù 1734 at Museo del Violino, Cremona and a recital at Konzerthaus Berlin.

12/7 SAT. 8 SUN.

アルノルト・シェーンベルク (1874 ~ 1951)

ヴァイオリン協奏曲 op.36

シェーンベルクは、1920年代に確立した十二音技法を、さまざまなジャンルや編成へ応用していく。ピアノ曲、弦楽四重奏、管弦楽曲から未完のオペラ《モーゼとアロン》までその広がり著しい。1936年、その試みはヴァイオリン協奏曲という伝統的な様式へと巡りついた。シェーンベルクがナチ政権下のドイツを去ってアメリカへ亡命し、終の棲家となるロサンゼルスにたどり着いた後である。作曲家の胸に去来していたのは、1935年に亡くなったアルバン・ベルクら、ウィーン時代の弟子たちへの思いだろうか。本作は、もう一人の愛弟子アントン・ウェーベルンに「私の親友かつ戦友」という献辞とともに捧げられた。初演はベルクの《ヴァイオリン協奏曲》と同じルイス・クラスナーであった。

全三楽章の構成は、ヴァイオリン協奏曲の伝統を色濃く感じさせる。全曲は一貫した音列に基づくが、音列を細かくグルーピングし、十二音技法とソロ楽器の特性をいかになく結びつけている。

第1楽章の冒頭、独奏ヴァイオリンが、G線の最低音域で音列の冒頭2音の半音階をずり上げるように提示する。すぐに音列全体が旋律として奏され、しだいに高揚して力強く管弦楽全体をリードしていく。楽章末の緻密なカデンツァも聴きどころのひとつ。**第2楽章**は、独奏ヴァイオリンによる静謐な旋律とチェロや木管楽器による室内乐的なやり取りから始まり、第1楽章との対比をなす。**第3楽章**は一転して決然とした行進曲風の音楽。独奏ヴァイオリンが、オーケストラと多声的かつ色彩豊かに絡む。独奏と打楽器のみとなる興味深い音色の対比も登場し、末尾の長大なカデンツァが、第1楽章冒頭の主題を織り込み、息をもたせぬクライマックスへとなだれ込む。

抒情性に満ちた旋律からアルペジオや重音を駆使した名人芸まで、楽器と様式の限界に挑んだ陰影に富む響きを味わいたい。

白井史人 Text by SHIRAI Fumito

作曲：1936年

初演：1940年12月6日、ルイス・クラスナー独奏、レオポルト・ストコフスキー指揮、フィラデルフィア管弦楽団

編成：ヴァイオリン独奏、フルート3（ピッコロ持替1）、オーボエ3、小クラリネット1、クラリネット1、バスクラリネット1、ファゴット3、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ1、ティンパニ、大太鼓、小太鼓、タンブリン、タムタム、シンバル、グロッケンシュピール、木琴、弦5部

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

交響曲 第5番 ハ短調 op.67「運命」

冒頭からドラマ満載だ。

周知のように、愛称の「運命」にベートーヴェンは関与していない。このニックネームは、ベートーヴェンの身近にいた、と主張した著述家アントン・フェーリクス・シンドラー(1795～1864)の創作に基づく。

8分休符に導かれた例の4音動機が第1楽章のみならず交響曲全体を貫き、ハ短調からハ長調への世界を緊密に構築してゆく。あのモティーフ(動機)自体には先例や類似型もあるのだが、交響曲第5番の衝撃度は群を抜く。

第1楽章は、ベートーヴェンをベートーヴェンたらしめるアレグロ・コン・ブリオ(生き活きと、速く)。主題と3つの変奏、及びコーダ(終結部)で有機的に構成された**第2楽章**の滋味深さも格別で、ドラマ性にも事欠かない。「運命」動機とフーガの技法を巧みに織り交ぜた第3楽章の創りも斬新だ。フーガを含む変奏は、この作曲家が生涯追究した筆致である。

そして**第3楽章**から**第4楽章**への移行。「田園」「皇帝」同様、熟達期のベートーヴェンは後半楽章の連結・転換に凝った。最終楽章に導入されたトロンボーン3、ピッコロ1、コントラ・ファゴット1の音響効果に驚く。音色(ねいろ)も音域も広がった。

トロンボーンは、教会と劇場の楽器、つまりミサ曲、レクイエム、オペラを担う楽器だった。神、あるいは人の声に寄り添う楽器を交響曲の最終楽章に持ってきたわけである。歓喜や祝祭を奏でるピッコロの音色も私たちに魅了してやまない。さりげなく存在感を醸す低音の要コントラファゴットにもご注目を。

作曲家の強じんな意志が急押しされるフレーズを経て、圧倒的なエンディングへ。動機の展開を究めたベートーヴェンは曲の最後にも「こだわり」をみせる。

フェルマータを伴う長音(トロンボーンのみ音を伸ばさない)での終結。19世紀初頭、こうした終わり方はミサ曲やレクイエムに多く、交響曲では異例の措置なのだ。

奥田佳道 Text by OKUDA Yoshimichi

作曲：1808年

初演：1808年12月22日ウィーン、アン・デア・ウィーン劇場

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン2、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部

12/18 WED.

東京オペラシティシリーズ 第143回

2024年12月18日(水) 19:00 東京オペラシティコンサートホール

Tokyo Opera City Series No.143

Wed. 18th. December 2024, 19:00 Tokyo Opera City Concert Hall

秋山和慶 [指揮]

盛田麻央 [ソプラノ]

富岡明子 [メゾソプラノ]

城 宏憲 [テノール]

加藤宏隆 [バスバリトン]

東響コーラス [合唱]

辻 博之 [合唱指揮]

田尻 順 [コンサートマスター]

AKIYAMA Kazuyoshi, Conductor

MORITA Mao, Soprano

TOMIOKA Akiko, Mezzo Soprano

JO Hironori, Tenor

KATO Hirotaka, Bass Baritone

Tokyo Symphony Chorus, Chorus

TSUJI Hiroyuki, Chorusmaster

TAJIRI Jun, Concertmaster

ベートーヴェン:

「レオノーレ」序曲 第3番 op.72(13')

L.v.BEETHOVEN:

Leonore Overture No.3 op.72 (13')

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調

op.125 「合唱付」(70')

L.v.BEETHOVEN: Symphony No.9

in D minor op.125 "Choral" (70')

I.アレグロ・マ・ノン・トロツポ、ウン・ボコ・マエストロ

II.モルト・ヴィヴァーチェ〜プレスト

III.アダージョ・モルト・エ・カンタービレ

IV.プレスト〜アレグロ・アッサイ

I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

II. Molto vivace - Presto

III. Adagio molto e cantabile

IV. Presto - Allegro assai

●主催/公益財団法人東京交響楽団

●助成/文化庁文化芸術振興費補助金舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)|独立行政法人日本芸術文化振興会

本公演には休憩がありません。

楽曲解説はP.14をご覧ください



12/28 SAT. 29 SUN.

特別演奏会「第九」2024

2024年12月28日(土) 18:30サントリーホール

2024年12月29日(日) 14:00サントリーホール

Special Concert

Sat. 28th. December 2024, 18:30 Suntory Hall

Sun. 29th. December 2024, 14:00 Suntory Hall

ジョナサン・ノット [指揮]

安川みく [ソプラノ]

杉山由紀 [メゾソプラノ]

宮里直樹 [テノール]

甲斐栄次郎 [バリトン]

東響コーラス [合唱]

辻 博之 [合唱指揮]

グレブ・ニキティン [コンサートマスター]

Jonathan NOTT, Conductor

YASUKAWA Miku, Soprano

SUGIYAMA Yuki, Mezzo Soprano

MIYASATO Naoki, Tenor

KAI Eijiro, Baritone

Tokyo Symphony Chorus, Chorus

TSUJI Hiroyuki, Chorusmaster

Gleb NIKITIN, Concertmaster

ベートーヴェン:交響曲 第9番 二短調 op.125 「合唱付」(65')

I.アレグロ・マ・ノン・トロツポ、ウン・ボコ・マエストーソ

II.モルト・ヴィヴァーチェ〜プレスト

III.アダージョ・モルト・エ・カンタービレ

IV.プレスト〜アレグロ・アッサイ

L.v.BEETHOVEN: Symphony No.9 in D minor op.125 "Choral" (65')

I. Allegro ma non troppo, un poco maestoso

II. Molto vivace - Presto

III. Adagio molto e cantabile

IV. Presto - Allegro assai

●主催／公益財団法人東京交響楽団

●後援／在日スイス大使館、ブリティッシュ・カウンシル

本公演には休憩がありません。

ジョナサン・ノットのプロフィールはP.4をご覧ください

楽曲解説はP.15をご覧ください

12/18 WED.



© 菊田力丸

AKIYAMA Kazuyoshi

Conductor

秋山和慶

[指揮]

Conductor Laureate

桂冠指揮者

齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1964年に東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキュース響音楽監督、大フィル首席指揮者、札幌響首席指揮者、広響首席指揮者、九響首席指揮者などを歴任。

これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受章。2014年度文化功労者に選出。現在、中部フィル芸術監督・首席指揮者、センチュリー響ミュージックアドバイザー、岡山フィルミュージックアドバイザー、東響桂冠指揮者、広響終身名誉指揮者、九響桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ芸術顧問、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授など多くの任を務めている。

2024年指揮者生活60周年を迎えた。

Born in 1941, Kazuyoshi Akiyama studied conducting under Hideo Saito at the Toho Gakuen School of Music. Akiyama has held prestigious posts such as Music Director of the American Symphony Orchestra and the Vancouver Symphony Orchestra, Syracuse Symphony Orchestra, Tokyo Symphony Orchestra. During this time, Akiyama's reputation spread to Europe and throughout North America.

He is the recipient of numerous highly prestigious honors in Japan including the Person of Cultural Merit (2014) for his outstanding cultural contributions.

Akiyama currently holds the title of Conductor Laureate of the Tokyo Symphony Orchestra, Music Advisor to the Japan Century Orchestra, Music Advisor to the Okayama Philharmonic Orchestra and Music Director/Principal Conductor of the Chubu Philharmonic Orchestra and others.

MORITA
Mao

Soprano

盛田 麻央
[ソプラノ]



©FUKAYA-Yoshinobu

国立音楽大学卒業、同大学院および二期会オペラ研修所修了。パリ・エコール・ノルマル音楽院首席、パリ国立高等音楽院修士課程を最優秀で修了。小澤征爾音楽塾『子どもと魔法』、二期会『ドン・ジョヴァンニ』ツェルリーナ、『魔笛』パミーナ、宮崎国際音楽祭『仮面舞踏会』オスカル、新国立劇場『子どもと魔法』等に出演。コンサート・ソリストとしても、ヘンデル『メサイア』、ハイドン『天地創造』、フォーレ『レクイエム』、オルフ『カルミナ・ブラーナ』、マーラー『交響曲第4番』等で活躍している。国立音楽大学非常勤講師。二期会会員

TOMIOKA
Akiko

Mezzo Soprano

富岡 明子
[メゾソプラノ]



東京藝術大学卒業、同大学院およびパルマ音楽院を首席で修了。2007年ベリッツオー国際声楽コンクール第2位および聴衆賞等多数受賞。パルマ歌劇場『試金石』、ペーザロ・ロッシーニフェスティバル『ランスへの旅』に出演。国内でも、二期会『ノルマ』アダルジーザ、A. バッティストーニ指揮『カルメン』メルセデス、日生劇場『セビリアの理髪師』ロジャー、新国立劇場『夜鳴きうぐいす』等出演。コンサートでも、モーツァルト『レクイエム』、グリーグ『ペール・ギュント』、マーラー『千人の交響曲』等で高い評価を得ている。二期会会員

JO
Hironori

Tenor

城 宏憲
[テノール]



東京藝術大学卒業。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁在外研修員として渡伊。第84回日本音楽コンクール第1位並びに岩谷賞(聴衆賞)受賞。二期会『トゥーランドット』カラフ、『ドン・カルロ』タイトルロール、『アイダ』ラダメス、新国立劇場『さまよえるオランダ人』エリック、『蝶々夫人』ピンカートン、東京春祭 R. ムーティ指揮『マクベス』、日生劇場『メデア』ジャゾーネ、兵庫芸文『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ等で活躍。コンサートでも『第九』やヴェルディ『レクイエム』等のソリストとしても多数出演している。二期会会員

KATO
Hirotaka

Bass Baritone

加藤 宏隆
[バスバリトン]



東京藝術大学卒業。ジョーンズ・ホプキンス大学ピーボディ音楽院修士課程およびインディアナ大学ジェイコブス音楽院ディプロマ課程修了。ブランドオペラ共同制作『カルメン』ダンカイロ、二期会『パルジファル』グルネマンツ、『タンホイザー』ヘルマン、C. ミヨフン指揮『ファルスタッフ』ピストーラ等出演。ヘンデル『メサイア』、モーツァルト『レクイエム』、ベートーヴェン『ミサ・ソレムニス』等の他、バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして海外公演やレコーディングに参加する等宗教音楽の分野でも活躍している。二期会会員

12/28 SAT. 29 SUN.

YASUKAWA
Miku

Soprano

安川みく
[ソプラノ]

©CMR-Photography

国立音楽大学、東京藝術大学大学院で学んだのち、英国ギルドホール音楽院を最優秀の成績で修了。2019年より拠点を英国と日本とし、宗教曲、歌曲、オペラ、現代作品までソリストとして幅広く活動。近年の出演として、2022年ジョナサン・ノット氏の推薦により東京交響楽団定期演奏会・名曲全集にてラヴェル《シェエラザード》、2023年バッハ・コレギウム・ジャパン定期公演にてシューベルト《ミサ曲》第5番、2024年4月山田和樹指揮バーミンガム市交響楽団 ベルリオーズ《ファウストの劫罰》にソプラノソロのCelestial Voiceとして共演。よんでん文化振興財団奨学生、文化庁新進芸術家海外研修員。ロンドン在住。

SUGIYAMA
Yuki

Mezzo Soprano

杉山由紀
[メゾソプラノ]

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了時に最優秀賞・川崎静子賞・所長賞受賞。2015年『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼルでオペラデビュー。二期会『ジュリオ・チェザレ』タイトルロール、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、二期会および東京交響楽団『サロメ』ヘロディアスの小姓、新国立劇場『子どもと魔法』『椿姫』等出演。コンサートでも、バッハ「ロ短調ミサ」、モーツァルト「レクイエム」、メンデルスゾーン「エリア」等で好評を博している。二期会会員

MIYASATO
Naoki

Tenor

宮里直樹
[テノール]

©Yoshinobu Fukaya.aura.Y2

東京藝術大学首席卒業、同大学院修了。明治安田クオリティオブライフ文化財団の助成により渡欧、ウィーン国立音楽大学にて学ぶ。第48回日伊声楽コンクール第1位、第28回アジア国際音楽コンサートにて金賞、テノール特別賞受賞。日生劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、二期会『ファルスタッフ』フェントン、東京芸術劇場『椿姫』アルフレード、新国立劇場『ばらの騎士』テノール歌手、いづみホール『真珠とり』ナディール等多数出演。メンデルスゾーン「讃歌」、マーラー「大地の歌」等コンサート・ソリストとしても活躍している。二期会会員

KAI
Eijiro

Baritone

甲斐栄次郎
[バリトン]

東京藝術大学卒業、同大学院修了。文化庁在外研修員としてニューヨークへ、五島記念文化財団の助成によりボローニャにて研鑽を積む。第10回ティト・スキーパー国際コンクール（イタリア）第1位。2003年ウィーン国立歌劇場にデビューし、以来10年間、専属ソリストとして、42役336公演に出演。レパートリーは60役を超える。「第九」やブラームス「ドイツ・レクイエム」等宗教曲のソリストとしても、数多く出演。全国各地のオーケストラ、指揮者より絶大な信頼を得ている。東京藝術大学教授、聖徳大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、二期会会員

Chorusmaster TSUJI Hiroyuki

辻 博之 [合唱指揮]

東京藝術大学音楽学部声楽科在学中からオペラ指揮者としての研鑽を積み、2017年オーケストラ・アンサンブル金沢定期公演にデビュー。九州交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団等と共演を重ねる気鋭の指揮者である。

近年のオペラ公演は『音楽現代』、イギリス『オペラ』誌等で紹介され注目を浴びる他、ディズニー・オン・クラシックや、赤ちゃんと一緒に楽しむコンサートなど〈音楽を未来と繋ぐ活動〉にも力を注ぎ続けている。



Tokyo Symphony Chorus

Chorus 東響コーラス [合唱]

1987年9月、東京交響楽団専属のアマチュア混声合唱団として創立。「東京交響楽団と一体の演奏をし、より質の高い合唱付きオーケストラ曲のコンサートを提供すること」を目的としている。指導には、演奏する楽曲の背景や歌詞に使用されている言語に精通した合唱指導者、発声指導者、伴奏ピアニスト、言語指導者を招き、公演ごとに出演者を決定するオーディションを行うことで常に演奏の質を高めている。歴代音楽監督の秋山和慶、ユベール・スダーン、ジョナサン・ノットからの信頼も厚い。古典から現代音楽、また日本初演など幅広いレパートリーに対応している。他団体からの出演依頼も多く、近年では「ラ・フォル・ジュルネ」に出演、「長野の県民文化会館とウィーン楽友協会の提携40周年演奏会」に賛助出演し好評を得た。2020年にはアマチュア合唱団として初めて「ミュージック・ペンクラブ音楽賞 室内楽・合唱部門」を受賞。

メンバー表

●合唱指揮・発声指導：辻 博之
稽古ピアニスト：松岡なぎさ
古瀬安子

●委員長 岡 邦子 (Sop.)
●副委員長 鳥居順子 (Sop.)
奥貫壮史 (Ten.)
堀 浩史 (Bas.)

●パートリーダー
Sop. (正) 遠藤由理 (副) 佐藤由紀子
Alt. (正) 水越睦美 (副) 渡邊朋子
Ten. (正) 枇杷高志
(副) 内山誠彦、増淵 隆
Bas. (正) 早川克己 (副) 竹内誠治

●コーラス委員
Sop. 増淵由佳、森田恵子、六井菜月
Alt. 小張さゆり、竹内あゆみ、鈴木みお
Ten. 大崎 純、田戸陽一、和田 敏
Bas. 篠田一朗、富岡 光、仲 恭令

Soprano

相田奈寿紀
青山 恵
安部こずえ
石井真穂
石井 恵
石村友希子
伊藤貴子
内野英子
遠藤由理
岡 邦子
小笠原実貴
奥泉亮子
小野寺美和
川之上裕美子
佐藤かえで
佐藤深雪
佐藤由紀子
島崎尚美
鈴木美和
ソートンク美
武田美香

Alto

鳥居順子
仁平朋子
東原なお
平川暢子
平田 某
藤記富子
増淵由佳
松本恵美
武藤弘美
森田恵子
森本由希
山下由美子
山田美生子
山津裕美
山之内文子
六井菜月
安藤有子
伊藤晴子
伊藤弥緒乃
上原ハルミ

Tenor

浦上珠絵
岡本いつか
奥山由里
尾崎いずみ
尾島夕里
尾田雅代
小名雅恵
加藤由美子
木内道子
工藤有子
小林朋子
小張さゆり
齋藤由紀
坂元靖子
坂本タカ子
佐々木美登
須田真理子
関口あずみ
奥村博康
竹内あゆみ
谷 郁
谷野仁美

Bass

福里里美
藤崎幸子
藤田 栄
水越睦美
鈴木みお
吉井久美子
吉岡美佳子
和田真理
渡邊朋子
内山誠彦
大崎 純
大島克義
大岡健史
小川 徹
小川英樹
奥貫壮史
奥村博康
菅野広和
木村 健
木村 貴

竹内邦夫
竹田 忍
竹本大祐
田戸陽一
塚本 隆
佃 浩一
辻 直浩
中原裕幸
名塩 優
西 宏隆
服部俊治
枇杷高志
古牧泰山
穂谷岳征
増淵 隆
水谷晴彦
和田 敏
山之内達也
荒木康司
今井俊博
岡野一哉

12/18 WED.

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

「レオノーレ」序曲 第3番 op.72

ベートーヴェンといえば、交響曲やピアノ・ソナタ、そして弦楽四重奏曲の名曲を思い浮かべる方が多いだろう。生前からそうした器楽作品でとりわけ名声を築いたベートーヴェンだが、彼自身はオペラでの成功も切望していた。当時の作曲家にとって、オペラは非常に重要なジャンルだったからである。

しかし、オペラの作曲はなかなか順調には進まなかった。紆余曲折を経て、ベートーヴェンが完成させたオペラは「フィデリオ」(=「レオノーレ」)ただ1曲である。そしてこのオペラのために、4曲の序曲を作曲した。

1805年11月20日にウィーンで行われた「レオノーレ」の初演は、成功にはほど遠いものであったと伝えられている。ときはナポレオン戦争の真っ最中。ウィーンはフランス軍に占領され、地元の貴族たちは疎開しており、観客の多くがフランス兵士だったことが失敗の理由としてしばしば指摘されるが、ベートーヴェンの音楽自体についても、当時の批評家たちは厳しい評価を下している。序曲も酷評された。そこでベートーヴェンは、友人たちからの強い勧めもあり、序曲を含めオペラ全体を大幅に書き換えることにした。

そして翌1806年、改訂された「レオノーレ」が初演された。この上演のために書かれたのが、本日演奏される序曲である。大枠としてはソナタ形式にのっとり、オペラを特徴付ける出来事のいくつかがほのめかされる。すなわち、アダージョの序奏部で、不当に投獄されているフロレスタンのアリアがクラリネットで奏されたり、展開部において、登場人物たちの運命を決めるトランペットのファンファーレが舞台裏から聴こえてきたり。さらにコーダでは、クライマックスでの和音が先取りされる。こうしたさまざまな楽想が用いられ、それらが大胆で目まぐるしい転調とともに展開されてゆく、劇的で大規模な序曲である。

越懸澤 麻衣 Text by KOSHIKAKEZAWA Mai

作曲: 1806年

初演: 1806年3月29日ウィーン、イグナツ・フォン・ザイフリート指揮

編成: フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、弦5部
バンダ: トランペット1

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)

交響曲 第9番 二短調 op.125「合唱付」

ベートーヴェンの「交響曲第9番」は、彼の記念碑的な作品である。ここで彼が伝えようとした中心的メッセージは、言わずと知れた第4楽章の『歓喜に寄す』、なかでも「すべての人は兄弟になる」という理念だったと考えられる。交響曲全体は二短調の第1楽章から、スケルツォ風の第2楽章、そしてたいへん美しい変奏形式による第3楽章を経て、二長調の第4楽章へー「交響曲第5番」と同様、「闇から光へ」という構造になっている。激しい不協和音とともに始まる第4楽章では、第1～3楽章の楽想が短く回想され、器楽で「歓喜の主題」が提示された後、バリトンのソロによって「おお、友よ、こんな音楽はよそう!」とそれらが否定される。そして「もっと快い、喜ばしい音楽を始めようではないか!」という呼びかけに応じるように「歓喜に寄す」が導入されるのである。

フリードリヒ・シラーの詩『歓喜に寄す』は、1786年に発表されるとすぐに話題を呼んだ。ベートーヴェン以外にも40人以上が歌にしたことが知られている。若い頃から生涯にわたってシラーの文学に親しんでいたベートーヴェンも、早くからこの詩に関心を持ったようだ。まだ故郷のボンで活動していた1792年、22歳の頃にはすでに、この詩に作曲しようとしていたという証言がある。その後彼は、何度かこのアイディアに立ち戻り、作曲を試みたが、どれも完成には至らなかった。それでも、この詩に曲を付けるというアイディアをベートーヴェンは長く温め続けた。

それが具体化したきっかけは、1817年にロンドンから2曲の交響曲を委嘱されたことであつた。このとき、交響曲という器楽のジャンルに声楽を盛り込む、という斬新なアイディアが生まれた。しかしこれは、ベートーヴェンにとっても容易なことではなかったようで、かなり構想が進んだ段階のスケッチでさえ、「器楽フィナーレ」の可能性も模索されていた。

ベートーヴェンが本格的に「第九」に取り組んだのは1823年春頃からである。彼にしては珍しく、この時期は「第九」の作曲だけに集中し、第1楽章から順に書き上げていった。完成したのは1824年初頭、53歳のことであつた。

そして迎えた1824年5月7日の初演。演奏会を告知するポスターには、大きな文字でベートーヴェンが「総指揮に参加する」と書かれており、ベートーヴェンが姿を現す、そのこと自体が格別の意味をもっていたと想像される。もっとも、難聴が進んでいた彼が実際に指揮者として全体を統率することは難しく、各楽章の冒頭のテンポを指示するだけであつた。ともあれ、この初演は拍手喝采の大成功を収めた。しかし、一度聴いただけではよく理解できなかった、というのが聴衆の本音だったようだ。『総合音楽新聞』には

12/18 WED. 28 SAT. 29 SUN.

「この真に類まれなフィナーレは、もっと凝縮された形であったならばはるかに多くの感銘を与えたに違いない、そして残酷な運命が自分自身の作品を聴く能力を作曲家から奪わなかったならば、作曲家自身も同意見であろう、と固く確信している」という（いまでは信じがたいような）コメントに続けて「ただ一つの望みは、この驚異的な作品がただちに再演されること」だと記されている。その後、世界中で数え切れないほど再演され続けるとは、当時の人々も、作曲家自身も、まったく予想していなかったことだろう。

「第九」はこれまでさまざまな場面で演奏されてきた。それは、音楽の美しさもさることながら、シラーとベートーヴェンのメッセージに強く訴えかけるものがあるからであろう。「この世のしきたりが 容赦なくひき裂いたものを、ふたたび結びつけてくれる」—しかし、ウクライナやガザを挙げるまでもなく、世界各地には『歓喜に寄す』で歌いあげられる内容がユートピアのように感じられてしまう悲惨な状況がある。ウィーンでの初演から200年を迎える今日、この交響曲がもつ人類愛という理念は、なおも希求すべきものとして切実に鳴り響くように思えてならない。

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロツポ、ウン・ポコ・マエストーソ

第2楽章 モルト・ヴィヴァーチェ〜プレスト

第3楽章 アダージョ・モルト・エ・カンタービレ

第4楽章 プレスト〜アレグロ・アッサイ

越懸澤 麻衣 Text by KOSHIKAKEZAWA Mai

作曲：1818年、1822～1824年

初演：1824年5月7日ウィーン、ミヒャエル・ウムラウフ指揮

編成：ピッコロ1、フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、コントラファゴット1、ホルン4、トランペット2、トロンボーン3、ティンパニ、トライアングル、シンバル、大太鼓、弦5部、独唱（ソプラノ、メゾソプラノ、テノール、バリトン）、混声合唱

L.v.BEETHOVEN:

Symphony No.9 in D minor op.125“Choral”

[歌詞対訳]

ベートーヴェン:交響曲 第9番 ニ短調 op.125「合唱付」

訳: 船木篤也

Aus "Ode an die Freude" von Friedrich Schiller

Baritone Solo

O Freunde, nicht diese Töne!
Sondern lasst uns angenehmere
anstimmen und freudenvollere!

Baritone Solo & Chorus

Freude, schöner Götterfunken,
Tochter aus Elysium,
Wir betreten feuertrunken,
Himmlische, dein Heiligtum.
Deine Zauber binden wieder,
Was die Mode streng geteilt;
Alle Menschen werden Brüder,
Wo dein sanfter Flügel weilt.

Quartet & Chorus

Wem der große Wurf gelungen,
Eines Freundes Freund zu sein;
Wer ein holdes Weib errungen,
Mische seinen Jubel ein!
Ja, wer auch nur eine Seele
Sein nennt auf dem Erdenrund!
Und wer's nie gekonnt, der stehle
Weinend sich aus diesem Bund!

Freude trinken alle Wesen
An den Brüsten der Natur,
Alle Guten, alle Bösen
Folgen ihrer Rosenspur.
Küsse gab sie uns und Reben,
Einen Freund, geprüft im Tod,
Wollust ward dem Wurm gegeben,
Und der Cherub steht vor Gott.

Tenor Solo & Chorus

Froh, wie seine Sonnen fliegen
Durch des Himmels prächt'gen Plan,
Laufet, Brüder, eure Bahn,
Freudig wie ein Held zum Siegen.

Chorus

Seid umschlungen, Millionen!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
Brüder über'm Sternenzelt
Muss ein lieber Vater wohnen.

Ihr stürzt nieder, Millionen?
Ahnest du den Schöpfer, Welt?
Such ihn über'm Sternenzelt,
Über Sternen muss er wohnen.

フリードリヒ・シラー 「歓喜に寄す」より

バリトン独唱

おお友よ、こんな音楽はよそう!
ここからは、もっと快い、喜ばしい
音楽を始めようではないか! (ベートーヴェン作)

バリトン独唱と合唱

喜びよ、神々のうるわしき火花よ
エリュシオンの娘よ
われらはその火花に酔いしれ
この上なきお前、お前の聖域に入るう
お前の魔力は、この世のしきたりが
容赦なくひき裂いたものを、ふたたび結びつけてくれる
人はみな兄弟となる
お前の翼が、そっと憩うところぞ

四重唱と合唱

ある者の友となる
幸せを得た者は
やさしい妻を手にした者は
この歓呼に加わりたまえ!
そう、ただ一人でもかまわない
この地球上に、自分のものと呼べる人があるならば!
それがどうしてもできない者は、ひっそりと
涙して、この同盟から出てゆくがよい!

生きとし生けるもの、喜びを
自然の乳房よりする
善人も、悪人も
自然が敷く、ばら色の道をゆくばかり
自然はわれらに、幾多のくちづけを、たわわなる葡萄を
死を耐えぬいた友を与えてくれた
虫にも快楽が分け与えられたのだ
智天使ケルブが、神の御前に立っている!

テノール独唱と合唱

意気揚々、星々が
天の輝かしい軌道を、飛びめぐるように
ゆけ、兄弟たちよ、おのれの道を
喜び勇んで、勝利にむかう英雄のように!

合唱

抱かれてあれ、もろ人よ!
このくちづけを、全世界に!
兄弟たちよ、天穹(てんきゅう)のかなたに
愛する父は、おられるはず

もろ人よ、ひれ伏しているか?
人の世よ、かの創造者を予感するか?
天穹(てんきゅう)のはるかかなたに、求めるがよい
星辰(せいしん)のかなたに、かの人はおられるはず



Symphony Lounge [シンフォニー・ラウンジ]

[3月定期・川崎定期予告]

ピアニスト イノン・バルナタンが語る

名匠オスモ・ヴァンスカとベートーヴェンでの東響初共演

ベートーヴェンこそ、 真に人間的な音楽

インタビュー・文 青澤隆明(音楽評論)

ニューヨークを拠点に活躍する俊英ピアニスト、イノン・バルナタンが来たる春、オスモ・ヴァンスカとともに東京交響楽団の定期演奏会に初登場する。

2016年以来、たびたび来日を重ね、コンチェルトやリサイタルで注目を集めてきたバルナタン。2024年4月には《東京・春・音楽祭》に招かれ、“シンフォニック・ダンス”をテーマとするリサイタルで、ラモー、

ラヴェル、ストラヴィンスキーを織りなし、自ら独奏版に編曲したラフマニノフの「交響的舞曲」で結ぶユニークなプログラムを豊麗に実らせた。

「これまでの経験から私は、日本がベストの国だと感じています。すべての細部を美しくする努力を惜しまない、それが文化の一部になっているからです。スプーンであれなんであれ、完璧になるまで、美しく

なるまで磨き上げる。それはクラシック音楽にはとても良いことだと思います(笑)。私は日本にいるのが大好きですし、東響の評判もきいていますから、共演が待ちきれませんよ」とバルナタンは微笑む。

盟友アラン・ギルバートとともに初めて日本を訪れ、東京都交響楽団とベートーヴェンの協奏曲第3番を聴かせたのが2016年。ギルバートとはベートーヴェンのピアノ協奏作品全8曲のレコーディングもしている。「私はベートーヴェンのどのコンチェルトも好きですから、初来日のときはアランが第3番を選んだのだと思います。東響とも初顔合わせにこの曲を演奏するのは偶然ですが、私にとっては幸せな符合です。オスモ・ヴァンスカとは何度も共演していますが、ベートーヴェンは初めてなので、それも楽しみです」。



25年3月定期演奏会で東響デビューとなる名匠オスモ・ヴァンスカ。

名匠オスモ・ヴァンスカとは彼が音楽監督を務めたミネソタ管弦楽団をはじめ、フィラデルフィア管弦楽団、ロサンジェルス・フィルハーモニックでも共演を重ね、確

かな信頼関係を築いてきた。彼はまた、バルナタンが続けるカリフォルニアのラホヤ音楽祭にも参加している。「マーラーを指揮して、それからクラリネットも演奏したけれど、ほんとうに素晴らしかったですよ。彼の奥さんはミネソタ管弦楽団のコンサートマスターですが、もともと彼女とは年も近く、若い頃は室内楽をいっしょにしていたから、彼と出会う前からの知り合いなのです。最初にミネソタで会ったとき、彼がどれほどオーケストラに愛され、音楽的なコミュニケーションがとれているかがすぐに見てとれました。非常にシリアスな音楽家で、シリアスな人だけれど、親しくなってみると、とても愉快な人でもあります。最初に会ったときから、ダイレクトなことにも打たれましたね。自分の考えや望むことを正確に言ってくるし、彼と音楽するのは心地よく、とても楽しい。そのようにして、私たちはたくさんの経験をともに積んできましたし、そのことが音楽づくりにも大きく役立っていると思います」。

まだ後期作には手をつけていないが、いずれ時間をかけてベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲にも取り組みたいと語るバルナタン。「ベートーヴェンは、クラシックとロマン派のレパートリー、小さな音楽と大きな音楽のちょうど中間に立っています。西洋音楽のすべての中心に位置している。だから、多くの異なるものを包含

[次回予告]ピアニスト イノン・バルナタンが語る
ベートーヴェンでの東響共演 ベートーヴェンこそ、真に人間的な音楽

して、演奏家は異なる方向からアプローチすることができます。とくに協奏曲第3番は、最初のロマン派コンチェルトだと私は思います。モーツァルトとも多くの関連があり、同時に未来をまなざし、ロマン派が展望されている。たとえば第2楽章はおそらくベートーヴェンがもっともベル・カントに近づいた地点でしょう。だから私はピアノではなく、歌手のことを考えて弾きます。俳優の仕事のように、人物の背景や発言の裏にあるものを理解しようと私は努めています。俳優は言葉そのものよりも声のトーンやテンションで多くをつくり出しますよね。おなじように、オーケストラをよく聴きながら、全体の雰囲気の中なかでいかなる意味をもつかということをつまみ、響きをかたちにしていくのです」。

近年はベートーヴェンに倣った即興演奏も試み、さらにその表現の潜在性に敏

感になったという。歳月を経て、彼の音楽をバルナタンはどのように捉えているのだろうか？

「それは大きな質問ですね。3歳半のとき弾いた月光ソナタの映像がスマホに入っているけれど……。ベートーヴェンについて私が新たに言えることはほとんどありませんが、究極的にみて、もっともヒューマンで正直な音楽のように思えます。それだけの力と直截性と人間性がある。私たちにとても近くて、だけどエピックという感じもある。現人神のようです(笑)。ベートーヴェンの音楽はある意味、私たちとおなじように欠陥があるような感じがします。非常に直情的で、人間の事情や情感や経験に根差している。モーツァルトのように完璧で、魔法みたいなものではなく、私たちみんなが抱いているような、人間の葛藤の中なかから出てきた音楽だと感じられる。だから、私はベートーヴェンの大ファンなのです(笑)」。

3/29(土) 第728回 定期演奏会

18:00 サントリーホール

3/30(日) 川崎定期演奏会 第99回

14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮: オスモ・ヴァンスカ
ピアノ: イノン・バルナタン

ニールセン: 序曲「ヘリオス」
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第3番
プロコフィエフ: 交響曲 第5番



Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N.Ikegami

ご芳名 (敬称略)

東京交響楽団へご支援いただいている皆様です。心より感謝申し上げます。

*新会員の方です。ありがとうございました(11月20日現在。五十音順)。

法人会員

プラチナ会員

株式会社エイチ・アイ・エス
株式会社ドワンゴ

ダイヤモンド会員

有限責任 あずさ監査法人
株式会社伊藤総合事務所
株式会社イノアックコーポレーション
株式会社インサイド・アウト
環境ステーション株式会社
株式会社すかいらくホールディングス
株式会社ティー ワイ リミテッド
株式会社日本財託
株式会社パソナグループ

ゴールド会員

株式会社青山メインランド
株式会社あ佳音
オリエンタル酵母工業株式会社
サントリーホールディングス株式会社
社会医療法人財団石心会
玉川学園・玉川大学
中外製薬株式会社
銚子屋油槽船株式会社
株式会社TFDコーポレーション
株式会社鉄鋼ビルディング
株式会社トーションパートナーズ
西松建設株式会社
株式会社NIPPO
株式会社日本M&Aセンター
ヒノキ新薬株式会社
司法書士法人ふなざき総合事務所
ミヨシ油脂株式会社
ヤマザキビスケット株式会社
税理士法人渡邊芳樹事務所

シルバー会員

株式会社NHKビジネスクリエイト
公益財団法人青梅佐藤財団
川崎信用金庫
松竹株式会社
月島食品工業株式会社
東京鐵鋼株式会社
司法書士法人村田事務所

ブロンズ会員

アーティス ホールディングス株式会社
NPO法人かわさき市民アカデミー
酒蔵駒八 別館
株式会社シグマコミュニケーションズ
新宿村スタジオ
有限会社青史堂印刷
ニッシンエレクトロロ株式会社
富士フィルムビジネス
イノベーションジャパン株式会社神奈川支社
前山歯科医院
株式会社LALLヒューマンホールディングス

賛助企業

東海大学教養学部 芸術学科音楽学課程
政鬼運輸株式会社
山崎製パン株式会社

匿名2社

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©Nikogami

ご芳名 (敬称略)

個人会員

サークル50

伊藤 晴美
伊藤 美樹
沖陽 陽子
鷺海 量明
木暮 紀子
澤田 秀雄
清水 尚彦

杉山 啓次
長瀬 雅利
山口 積恵
山口 知子☆
山口 学
匿名 3名
☆名誉バトロン

サークル25

石川 晴依世
猪川 隆文
井上 孝昭
岡野 一哉
加藤 英輔
後藤 実

鈴木 信恵
手塚 和彦
戸川 二郎
平山 智史
山本 誠一郎
匿名 3名

サークル10

天野 佳和
荒木 陽子
五十嵐 建平
井澤 菜緒子
岩田 新
内山 誠彦
木沢 麻衣
遠藤 秀和
大内田 由紀子
大城 明幹
大崎 明子
太田 肇
大塚 具幸
大類 浩
岡 邦子
小野 博道
片山 泰輔
片山 千栄
金山 尚弘
金田 尚生
木質 賢市
菊池 光剛
木内 正則
小林 光
古丸 健
*小宮 富美子
近藤 和喜夫
斎藤 信司
斎藤 真
佐野 木
佐野 利勝
波佐 慎吾
清水 恭一
白井 美貴子
高田 光
高津 麻子

高野 幸一
高橋 佐智子
高島 正之
高家 博
山口 忍
竹田 建一
谷川 秀明
谷藤 明雄
千葉 清
角田 隆・直子
中澤 守正
中村 倉祥
成瀬 公男
西谷 純一
橋本 正希
原川 美保子
アース M.比嘉
平川 尚義・暢子
根 高志
根 和久
増岡 聡一郎
真野 美千代
三浦 麻子
水越 睦美
満田 高久
三橋 恭博
岸 信幸・京子
森 京子
森 健
森 優子
森 国彦
森 昭
森 典彦
山上 重雄
山口

山本 明
吉井 久美子

吉村 美恵子
米岡 修一
匿名 14名

村田 拓郎
安江 美穂
山田 敏之
山中 喜義
山之内 英明

鈴木 美恵子
横尾 敏之
古原 渡辺
匿名 35名

フレンズ5

東 恭代
有江 純子
石原 祥子
潮田 伊織
大川 朋彦
大野 紀子
奥加 和彦
加藤 政晴
河野 愛
小林 義彦
斉藤 潤
佐藤 信一郎
佐藤 信利
塩澤 誠司

高際 比呂志
寺西 基之
中島 信男
長谷川 泰弘
早川 利郎
古庄 忠雄
松信 正志
山口 秀幸
山田 聡
山田 修造
吉田 喜良
渡邊 哲四郎
匿名 3名

フレンズ1

■あ 相磯 浩
青野 眞輝
赤野 寛道
塚元 節恵
秋元 淳志
朝倉 文子
倉里 文男
安達 郁夫
足立 めぐみ
阿部 浩子
阿部 靖彦
阿部 百合子
新井 裕一
生田 利昭
池田 公仁
井草 誠子
井石 幸一
井川 紀一
磯村 邦宏
井手 勉
伊藤 晴子
伊藤 宗功
伊藤 力雄
稲葉 順一
井上 康子
今井 由紀夫
今井 邦男
今宮 美知子
今村 知子
今村 裕子
岩澤 淳子
岩澤 順子
岩田 由紀一
岩田 裕一
岩野 洋子
内海 重男
内川 美名子
内山 誠
宇野 さゆり
梅崎 正芳
梅崎 耕司
梅本 和秀
瓜生 千枝子
大越 剛
大越 貴志子

大嶋 孝義
大島 正
大島 初彦
大島 康裕
大島 裕美子
大友 賢久
大友 英司
大友 佳子
大西 佳香
大西 喜恵
大畑 恵
大畑 慶裕
大堀 悦子
大森 幸吉
大森 節子
岡田 正道
岡田 美穂
岡野 明徳
岡野 兵衛
岡田 幾子
沖 知子
奥秋 和歌子
奥田 由美子
奥村 壮史
奥村 克彦
小倉 ヒロ・エル
小倉 ミハエ
生島 靖雄
小名 雅恵
小野 信也
小野 哲也
小野 英樹
小野 美和
尾野 純二
小野 嘉文
小畑 嘉文
甲斐 幸士
海藤 慶子
柿沼 威司
方波 和雄
葛城 伸一
葛城 憲司
加藤 洋子
加藤 里加子
加藤 妙子
金元 頼子
松沢 善行
川口 安子
川野 川之上
菅野 裕美子
菅野 広和

フレンズ3

秋山 真一郎
明田 重樹
荒 洋一
有坂 一彰
池田 卓志
石澤 聖恵
井上 聡
井上 正明
岩瀬 元
白居 純
大北 透
大崎 啓一
大塚 展男
大塚 康恭
大塚 篤
小川 桂子
小川 俊文
小川 夕子
小川 明子
小澤 修
小澤 由美子
小澤 伸彦
小澤 基
小澤 綾
小澤 治
小澤 洋
小澤 盛弘
小澤 幸男
小澤 一穂
小澤 孝
小澤 鉤

佐藤 悦子
佐藤 香
佐藤 健
佐藤 良枝
清水 弘也
杉田 いく子
鈴木 眞理子
須根 三善
関根 祐あゆみ
高石 美貴子
竹内 万紀
田中 元嗣
都築 幸雄
谷原 幸洋
中村 利明
中村 淳子
永井 清美
長瀬 尚弘
成田 直之
成田 敏嗣
根本 克己
野口 美奈子
早川 京子
林 昭夫
春川 淑子
福田 昭
藤田 淑子
藤田 郎
藤野 唐
藤野 樹
藤野 光代
舟橋 直樹
星 直樹
松下 一彦
三橋 正典



*新会員の方です。ありがとうございました(11月20日現在。五十音順)。

■わ
若田部 矩弘
渡邊 朋子
和田 えみ
和田 真里
C.S.
N.S.
T.Saito
匿名 158 名

■米誉会員
ヨーコ・ナガ
チェスキーナ

Symphony | 23

Together With TSO

for Music Lovers

東京交響楽団サポート会員

©N. Ikegami

<東京交響楽団サポート会員制度>

東京交響楽団は、一流指揮者の招聘やチャレンジングなプログラミングによる定期演奏会の充実、次世代を担う子供たちの育成等、これまで以上に積極的な演奏活動を展開し、音楽文化の向上に努めて参ります。そのために不可欠な運営基盤の強化のため、広くご支援をお願いしております。みなさまのご入会を心よりお待ちしております。

個人会員

フレンズ1

年額1万円
～29,999円

フレンズ3

年額3万円
～49,999円

フレンズ5

年額5万円
～99,999円

サークル10

年額10万円
～249,999円

サークル25

年額25万円
～499,999円

サークル50

年額50万円～

法人会員

東京交響楽団とのパートナーシップは、御社のイメージアップにつながるだけでなく、従業員の皆様の福利厚生にもつながります。

ブロンズ

年額10万円～

シルバー

年額30万円～

ゴールド

年額50万円～

ダイヤモンド

年額100万円～

プラチナ

年額1000万円～

会員特典

詳細はHP、
又はお電話でお問合せ下さい

	法人会員	サークル 会員	フレンズ会員		
			フレンズ5	フレンズ3	フレンズ1
主催公演へご案内	○	○			
ゲネプロ見学会(年3回以上)	○	○	○	○	
リハーサル見学会(年3回以上)	○	○	○	○	○
ご芳名掲載	○	○	○	○	○
主催公演チケット先行予約 ^{*1}	○	○	○	○	○
公演チケットをご優待価格にてご案内 ^{*2}	○	○	○	○	○

^{*1} 一部対象外もございます。^{*2} 東京交響楽団の主催公演およびミュージアムザ川崎シンフォニーホール主催公演が対象です。一部対象外もございます。

税制上の優遇措置について

東京交響楽団は内閣府より公益財団法人の認定を受けており、当楽団への御寄附には税制上の優遇措置が施されます。

◎個人の場合:「寄附金額から2,000円引いた金額」の40%^{*}について、税金(所得税・個人住民税)を控除されます。

また相続税にも控除が適用されます。

◎法人の場合:「損金算入限度額」が一定の算式に従い、拡大されます。^{*}

^{*}ただし、各該当法令で定められた限度があります。

その他、マッチングギフトやご遺贈、相続ご寄付についてもご案内させていただいております。

公式サイトからクレジットカードでサポート会員にご入会(ご寄付)いただけます。

<http://tokyosymphony.jp/support/procedures.html>



サポート会員へのご入会・お問合せ TEL 044-520-1518

公益財団法人東京交響楽団川崎オフィス 支援開拓本部 E-mail supporters@tokyosymphony.com

Meet the Musicians

楽団員紹介

ひたむき・まっすぐなヴァイオリスト

新井瑞穂

ARAI Mizuho

[ヴァイオラ奏者]2023年11月入団

趣味:寝ること、カフェ巡りをする(友人が探したお店についていく)こと



©N. Ikegami

姉の提案がきっかけで

姉が母の勧めでピアノを習っており、私も楽器をはじめめることに。最初はチェロを勧められたのですが、当時の私は「足を開くのは嫌だ!」と言ったようで(笑)、ヴァイオリンを始めました。小学生の頃には地元のジュニアオーケストラに入団したものの、当時はオーケストラでの自分自身の演奏が魅力的に映っていませんでした。「私をもっと練習しなければ」と、中学・高校とも管弦楽部には入部せず、友人にもヴァイオリンを弾いていることをほとんど言わず、黙々と音楽に向き合う日々。そんな中でも、漠然とオーケストラへの夢は持ち続けていました。

コンクールでも思うような結果が出ず、悩んでいたある日、音楽大学に進学していた姉から「ヴァイオラに転科してみては?」と提案されたのです。前に出るよりは支える方が得意、みんなが集まることも好きだけれど1人で自由に過ごす時間も好きな私の性格は、ヴァイオラの方がむいているのかも、と自分でも感じ、高校2年生の夏にヴァイオラに転向しました。

最初こそ身体の使い方の違いに戸惑い、ヴァイオリンの時の癖が抜けずに試行錯誤しましたが、「地球にまっすぐと立っている意識」をだんだんとイメージできるようになってからは、自分の求める音楽や音色と向き合えるようになりました。特に、大学生の頃から使っている今の楽器は、私との

相性がとても良く、心地よく響いてくれるのです。ヴァイオラに持ち替えてから、音色を褒めていただくことも増え、アンサンブルもより一層楽しめるようになりました。

超インドア派だけれども…

趣味は寝ること!というくらいのインドア派。ですが、東響の正楽団員となり、また来年には大学院も修了する“一社会人”として「もっと人と会う生活をしなければ」と、今までに比べ積極的に外に出るようになりました。

東響のヴァイオラセクションは、みなさんお父さんお母さんのように(笑)あたたかく見守ってくださり、とても居心地の良い場所です。みなさんのp(弱音)はとても繊細で、音色の中での自分の「音の居場所」を模索する日々。これから先は音楽的にも人間的にもより成長できるように、いまは目の前の音楽一つ一つに向き合っていきます。



ヴァイオリンを始めた5歳頃

インタビュー:事務局

NEWS & TOPICS

新入団

2024年12月1日付

藤田麻理絵 FUJITA Marie [ホルン奏者]

オーケストラ×歌、オーケストラ×プレイキン! 誰も見たことのないアツいステージ!

かわさき シンフォニー・ポップス Songs and Dances 開催決定

川崎市市制100周年、ミューザ川崎シンフォニーホール20周年記念に、東京交響楽団がおくる新たな演奏会です。

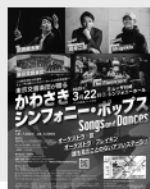
◇2025年 3月22日(土) 17:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

[出演] 指揮: 原田慶太楼
ヴォーカル: 岡 幸二郎
プレイキン: Shigekix
The Floorriorz



[曲目] 映画『ハリー・ポッター』、映画『スター・ウォーズ』
ミュージカル『オペラ座の怪人』より ミュージック・オブ・ザ・ナイト
ディズニー・メドレー より、マルケス: ダンソン 第2番 ほか

[発売日] 東響会員先行発売: 2024年12/11(水) 10:00 ~
オンライン先行発売: 12/16(月) 10:00 ~
一般発売: 12/20(金) 10:00 ~



東京交響楽団アジア・プロジェクト・ツアーが決定

2025年5~6月に、バンコク(タイ) クアラルンプール(マレーシア)での特別演奏会が決定いたしました。詳細はアジア・プロジェクト特設サイトからご覧ください。



◇2025年5月28日(水) 19:00 タイ文化センター
◇2025年5月29日(木) 19:00 タイ文化センター
◇2025年6月 1日(日) 15:00 ペトロナス・
フィルハーモニック・ホール



クラシック・バーチャルアーティスト・プロジェクト

「ポルタメタ -portameta-」

第2回オーディション開催 ヴァイオリニスト募集！

KADOKAWA×ドワンゴが制作、正指揮者 原田慶太楼と東京交響楽団が監修を務める、クラシック・バーチャルアーティスト・プロジェクト「ポルタメタ」。第1弾のピアニストに続き、第2弾としてヴァイオリニストを募集します。



来年の《第九 2025》は… ◇2025年 12月28日(日) 14:00、29日(月) 14:00

【会場】 サントリーホール

【出演】 指揮：ジョナサン・ノット、合唱：東響コーラス ほか

【発売日】 東響会員先行発売：2025年7/8(火)10:00 ~
オンライン先行発売：7/10(木)10:00 ~
一般発売：7/17(木)10:00 ~



【謹告】出演者変更のお知らせ(2025年7月19日川崎定期演奏会、7月21日定期演奏会)

川崎定期演奏会第101回、第732回定期演奏会出演を予定しておりましたバリトンのクリストフ・ポールは、ヨーロッパでのスケジュールに変更が生じたため当公演への出演ができなくなりました。

代わって、マティアス・ウィングラーが出演いたします。楽しみにして下さっていた皆様には心よりお詫び申し上げます。何卒事情ご賢察の上、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

NEXT PROGRAM

1/5(日) ニューイヤーコンサート2025
14:00 サントリーホール

1/6(月) ニューイヤーコンサート2025
14:00 横浜みなとみらいホール

指揮：秋山和慶

ピアノ：小山実稚恵

J.シュトラウスⅡ：皇帝円舞曲

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番「皇帝」

ドヴォルザーク：交響曲 第9番「新世界より」

[1/5]SSシングル¥9,000 SSペア¥16,000 S¥7,000 A¥6,000 B¥5,000

[1/6]S¥6,500 A(2階LA,RA,Pブロック)¥4,000

3/29(土) 第728回 定期演奏会
18:00 サントリーホール

3/30(日) 川崎定期演奏会 第99回
14:00 ミューザ川崎シンフォニーホール

指揮：オスモ・ヴァンスカ

ピアノ：イノン・バルナタン

ニールセン：序曲「ヘリオス」

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第3番

プロコフィエフ：交響曲 第5番

[3/29]S¥8,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,500 P¥3,000

[3/30]S¥8,500 A¥6,500 B¥4,500 C¥3,500 P¥3,000



東京交響楽団

川崎市フランチャイズオーケストラ
新潟市準フランチャイズオーケストラ



公式サイト <https://tokyosymphony.jp>



1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に東京交響楽団に改称し、現在に至る。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞。サントリーホール、ミュゼ川崎シンフォニーホール、東京オペラシティコンサートホールで主催公演を行うほか、川崎市、新潟市などの行政と提携し、コンサートやアウトリーチを積極的に展開。教育プログラム「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」も注目されている。また、新国立劇場のレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演もウィーン楽友協会をはじめ59都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。さらに日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴。2022年12月には史上最多45カメラによる《第九》公演を配信し注目を集めた。

近年は、音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。特に、2022年よりスタートした「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出されるなど各メディアで絶賛され、第3弾《ばらの騎士》にも期待の声が寄せられている。

桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、正指揮者に原田慶太楼、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。



The Tokyo Symphony Orchestra, together with music director Jonathan Nott, has been attracting attention as a leader in the Japanese orchestra world. Elektra in Concert Style(2023) won the 1st prize in the "Top 10 Concert 2023" following the 2nd prize of Salome in Concert Style(2022) on Ongaku no Tomo magazine as well as the Best Recording of Music Pen club Japan Award for Opera & Orchestra category and Tokyo Symphony Chorus, Orchestra's amateur chorus also won the prize for Chamber & Chorus category.

Highlights of past seasons with Mo. Nott include Symphony 9 by Beethoven filmed by 45 cameras, the largest record of the orchestra history live-streamed nationwide, Gurre-Lieder by Schoenberg celebrating 15th Anniversary of Muza Kawasaki Symphony Hall, TSO's home and Mozart's Da Ponte Operas in concert style. In March 2020, the live-streamed concert without audience on nico-nico Live Channel which attracted more than 200,000 viewers nationwide, has been a mega-hit in Japan.

Outside of Japan, the orchestra has performed 80 concerts in 59 cities since 1976. Tokyo Symphony Orchestra was founded in 1946 as Toho Symphony Orchestra, and changed its name to Tokyo Symphony Orchestra in April 1951, and has a reputation for giving first performances of a number of contemporary music and opera, and has been regularly performing various operas and ballets at the New National Opera Theatre, Tokyo since its opening in 1997.

マエストロ・シート

【5組10名の小・中・高校生無料ご招待】



NICO NICO
TOKYO SYMPHONY
ニコニコ東京交響楽団



音楽・動画配信サイト
[TSO MUSIC & VIDEO
SUBSCRIPTION]
1か月550円(税込)



このプログラムは見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサル・デザインフォントを使用しております。

TOKYO SYMPHONY ORCHESTRA MONTHLY CONCERT BROCHURE

Symphony

Symphony 2024年(令和6年)12月号[非売品]

発行 公益財団法人東京交響楽団 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5 TEL 03-3362-6764

<川崎オフィス> 〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

ミュゼ川崎セントラルタワー 5階 TEL 044-520-1518

Art Direction & Design : Be.To Bears 印刷 : NHKビジネスクリエイト